※令和４年度以降入学生用

学校番号	１２０４

令和８年度　学環境科

教科	学環境	科目	(学)環境問題考察入門	単位数	１単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

大気汚染や水質汚濁、温暖化やエネルギー、防災など社会を取り巻く様々な環境問題をテーマに学習していきます。正しい知識と理解を踏まえ、持続可能な社会の実現に向け、生徒同士でアイデアを出し合い、発表します。

２　学習の到達目標

・環境問題に対する正しい知識や探究する技能を身に付ける。
・問題の背景や原因を多面的に分析し、対応策について思考し発表する。
・身の回りの環境問題に対し、進んで情報を収集し、解決に向けて行動する姿勢を身に付ける。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・環境問題に関する事物や現象について基本的な知識を理解している。 ・環境問題について分析する手法を身に付けている。	・環境問題の背景や原因について、科学的に考察し、導き出した解決策を的確に表現できる。	・防災やエネルギー問題などの社会を取り巻く環境問題に対し、興味関心を持ち、進んで探究しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
半期	①エネルギー問題の現状と未来	エネルギー問題の現状を理解し、どのようにエネルギーを活用すべきかについて考える。	a:エネルギー問題について理解する。 b:それぞれのメリット、デメリットについて考える。 c:エネルギー問題について多面的に調べている。	授業 プリント	レポート	取り組み 姿勢
	②まちと環境	自分たちが住む地域が災害に襲われた場合を想定して、行動や準備、心がまえをグループ討議する。	a:ハザードマップの見方を理解する b:情報を踏まえて行動について考える。 c:考えたことを発表する。	授業 プリント	授業 プリント	発表の 様子 取り組み 姿勢
		未来の街を作るとした場合、どのような街づくりをするかを考える。防災なども考えて自由に発想し、討議する。	a:災害が起こりうる地形、環境について理解する。 b:知識を踏まえて自由に考える。 c:意見を出し合ってグループで考える。	授業 プリント	授業 プリント	取り組み 姿勢
	③原子力発電は必要か	原子力発電の必要性について、安全面、コスト面などの多様な観点から観察し、議論する。核廃棄物処理について各国の方法について調べ、発表する。	a:原子力発電について理解する。 b:様々な観点から必要性の有無について議論する。 c:各国の処理方法について調べ、発表する。	授業 プリント	授業 プリント レポート	発表の 様子
	④防災グッズを考えよう	環境にやさしい商品について分析をし、アイデアを出し合う。実現性のあるアイデアかどうかも検討を進め、商品の内容を発表する。	a:環境に対する工夫について理解する。 b:自ら商品を検討する。 c:考えた商品について発表する。	授業 プリント	授業 プリント	発表の 様子
	③自然保護	周辺地域の外来植物の有無を調べ、調査に基づき、自然保護についてグループごと話し合い、発表する。	a:外来植物について理解する。 b:外来植物について調べる。 c:自然保護について話し合い、発表する。	授業 プリント	授業 プリント	発表の 様子

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度